

令和7年

9月28日 日

第20回 加賀 市民映画祭

みに・キネマ加賀 since 1994

■会場: 加賀市文化会館(カモナホール)

■料金: 前売 500円(当日1,000円) 中学生以下無料

2作品観ても1作品のみでも料金は同じです。

★「小学校〜それは小さな社会〜」鑑賞後は一度ご退場頂き、13:00から再入場可能となります

★館内での飲食は出来ませんので、昼食は館外でお願い致します

主催: 加賀市民映画祭実行委員会、みに・キネマ加賀

後援: 加賀市、加賀市教育委員会、加賀商工会議所、山中商会、加賀ライオンズクラブ、加賀ロータリークラブ、加賀白山ロータリークラブ、山中ロータリークラブ、(公社)加賀青年会議所、加賀市各団体女性連絡協議会、加賀おやこ劇場

協力: 映画シネマ雄、南たけうち印刷

私たちは、いつどうやって日本人になったのか?

小学校

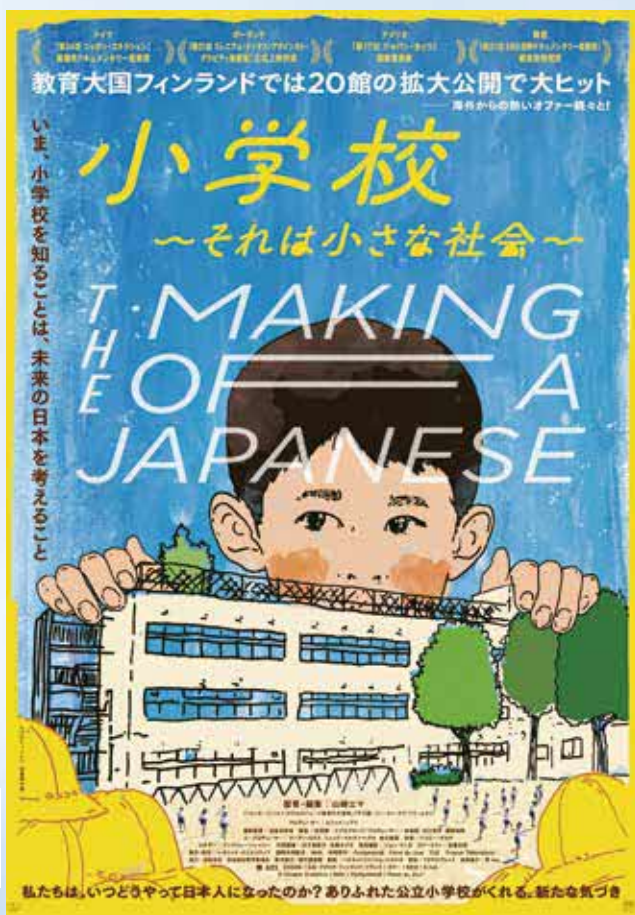
〜それは小さな社会〜

開始

10:30

(開場9:30)

「私たちは、いつどうやって日本人になったのか?」コロナ禍の中、東京都内の公立小学校を約1年間、のべ4,000時間かけて撮影したドキュメンタリー映画。「6歳児は世界のどこでも同じようだけれど、12歳になる頃には日本の子どもは“日本人”になっている」学校での集団生活によって社会のマナーを学んでいく一年生と経験を重ねて成長する六年生。規律と個性のバランスに葛藤する先生たち。日々の生活で責任感や達成感を学び「誰かのために何かをする喜び」を体感する。日本人の強みと弱みを知り、これからの社会を考えるきっかけとなる作品。



© Ciner Creative / NHK / Pystymetsä / Point du Jour
監督・編集: 山崎 エマ

上映時間99分

なあ、せかいってことば、知ってるか

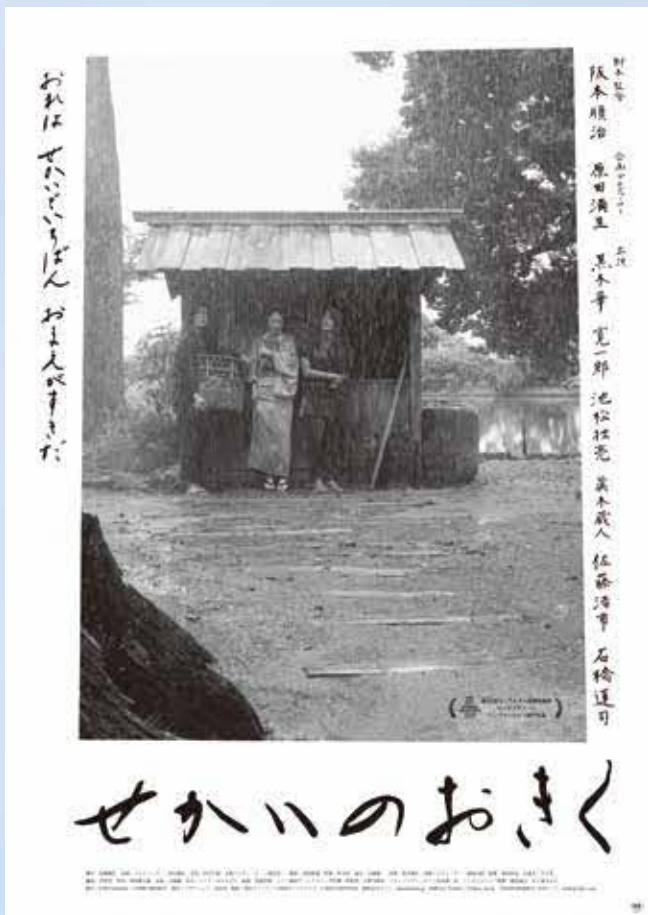
せかいのおきく

開始

14:00

(開場13:00)

江戸の貧乏長屋で暮らし、寺子屋で子どもたちに読み書きを教えている主人公のおきく(黒木華)。ある日、厠で紙屑拾いの中次(寛一郎)と下肥買いの矢亮(池松壮亮)と出会う。佻しくつらい人生を懸命に生きる三人はやがて心を通わせていき、果てしなく広がる“せかい”の輝きに触れる。物語の背景には糞尿を肥料として農業に用いるなど循環型経済の最先端にあった江戸時代の風景が広がる。モノクロの映像は墨絵のように美しく、心が洗われる。



©2023 FANTASIA

脚本・監督: 阪本 順治

出演: 黒木 華、寛一郎、池松 壮亮、眞木 蔵人、佐藤 浩市、石橋 蓮司

上映時間89分

前売り券発売所

[加賀市] アビオシティ加賀1階総合カウンター、
加賀市文化会館、山中座、まえやま書店、加賀おやこ劇場、新谷商店

[小松市] 石川県小松市團十郎芸術劇場うらら

[金沢市] 石川県立音楽堂チケットボックス、香林坊大和プレイガイド(6階)

お問い合わせ: みに・キネマ加賀事務局 (TEL: 090-8264-9013 MAIL: minikinema.kaga@gmail.com)



みに・キネマ加賀
Instagram



当日キッチンカー来場します!

おにぎり、お惣菜、
イタリアンホットサンド、
揚げピッツア、たこ焼き等